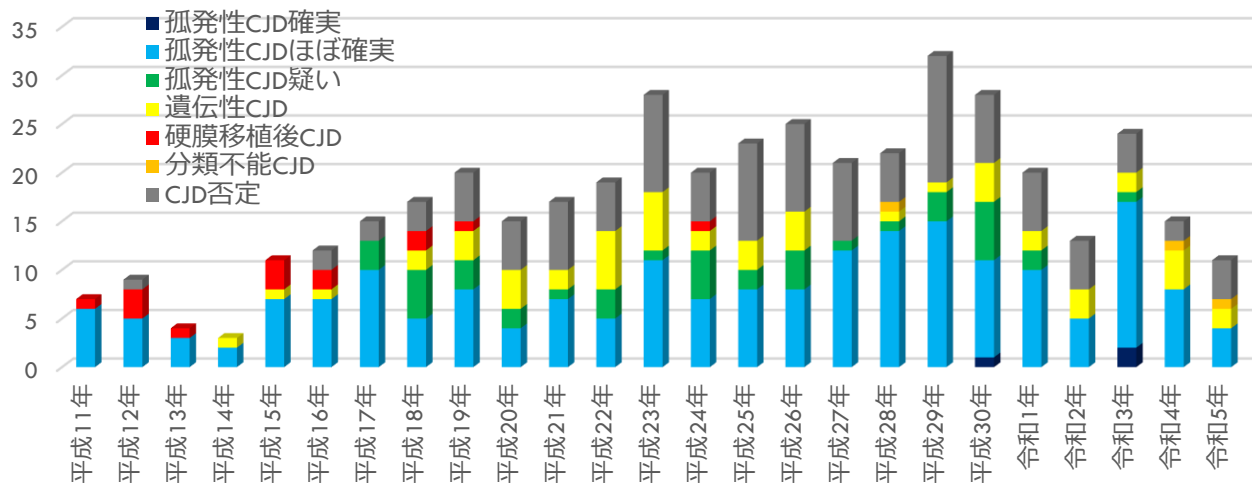


## 令和5年北海道地区のサーベイランス状況について

研究分担者：北海道大学神経内科

矢部一郎

平成11年～令和5年 CJDサーベイランス 年・病型別患者数 (431名)



令和4年11月～令和5年10月CJDサーベイランス調査(13名)

	孤発性CJD	遺伝性CJD	診断保留CJD	該当せず
例数	5	3	1	4
男：女	3：2	1：2	0：1	1：3
平均年齢（歳）	71.6	77		65.75
備考		V180I: 3例		筋萎縮性側索硬化症 薬剤性パーキンソン症候群 アミロイドアンギオパチー 悪性リンパ腫

### 解 説

- 2023年度は北海道地区でプリオン病が疑われた13名のサーベイランスを実施しsCJD 5名とgCJD 3名を報告した。
- 北海道地区では2020年および2023年に、運動症状が認知機能障害に先行したV180IバリエーションによるgCJDを2例経験した。
- 痙縮や脊柱後弯といった非典型的な症候があり、他疾患が否定的な場合には、初期に認知症を伴わなくとも、V180Iバリエーションを伴うgCJDの可能性も検討する。